

放課後等デイサービス事業所における自己評価結果(公表)

討議年月日: 令和 6年 3月 22日

公表: 令和 6年 3月 25日

事業所名 放課後等デイサービスまきば

		チェック項目	はい	どちらともいえない	いいえ	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
環境・体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である		○		利用人数によっては、活動スペースが狭い時があるため、スペースの拡張を検討する
	2	職員の配置数は適切である	○			
	3	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされている	○			バリアフリー施設であり、車いす等の移動に適している
業務改善	4	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画している	○			定期的に振り返りを行い、課題や目標設定について会議を行っている
	5	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	○			アンケート調査や面談等を実施し、保護者様の意向等の確認を行っている
	6	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開している	○			当法人ホームページに公開をしている
	7	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている			○	今後、第三者による評価等を検討していく
	8	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している		○		今後は、積極的に外部研修の機会を設ける
適切な支援の提供	9	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成している	○			個々の特性を捉え、課題の解決に向けて、計画作成を行っている
	10	子どもの適応行動の状況を把握するために、標準化されたアセスメントツールを使用している	○			
	11	活動プログラムの立案をチームで行っている	○			
	12	活動プログラムが固定化しないよう工夫している	○			利用児や保護者のニーズに応え、種々の体験ができるよう工夫している
	13	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援している	○			主に、長期休暇において、課題解決に向けた支援を行っている
	14	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成している	○			集団と個別の活動を組み合わせた支援を行っている
	15	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	○			始業開始前に、送迎や活動する際の役割分担の確認を行っている
	16	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	○			毎日業務終了後にミーティングを行い、気が付いた点等を情報共有している
	17	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	○			毎日業務終了後にミーティングを行い、気が付いた点等を情報共有し、記録している
18	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断している	○				
19	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせ支援を行っている	○				

関係機関や保護者との連携	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	○		担当者会議が開催された際には、主に児童発達支援管理責任者が出席している
	21	学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っている	○		常に、保護者や学校と情報を共有している。また、荒天時等は特に密な連携を図っている
	22	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えている	○		現在、要医療的ケア児童の利用はないが、当該児童の利用があった際には、対応できる
	23	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めている	○		今年度は、新に就学する児童がいなかったが、今後対象児童がいた場合には、連携していく
	24	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等している	○		今後、対象となる生徒が在籍した場合には、対応していく
	25	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	○		今後、研修の機会があれば、参加していく
	26	放課後児童クラブや児童館との交流や、障がいのない子どもと活動する機会がある	○		新型コロナウイルスの影響もあり、交流の機会が持てなかったが、今後の動向を見て交流をしていきたい
	27	(地域自立支援)協議会等へ積極的に参加している	○		
	28	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	○		保護者様と事業所間で、利用児の様子や課題について、情報を共有している
保護者への説明責任等	29	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っている		○	利用児の問題行動等の改善にむけて、支援のポイント等助言することがある
	30	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	○		
	31	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	○		
	32	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している	○		保護者同士の交流の機会の確保を図ったが、参加者が少なかつたため、今後日程等を工夫し、連携しあえる場を設けたい
	33	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応している	○		現在のところ苦情はないが、あった際には速やかに対応できる
	34	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	○		定期的に会報を発行している
	35	個人情報に十分注意している	○		
	36	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	○		情報等は伝わりやすいよう配慮している
	37	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている		○	今後、行事を行う際には、地域の人にも参加してもらえるよう検討していく

非常時等の対応	38	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知している		○		定期的に各マニュアルを周知していく
	39	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	○			年2回の避難訓練を実施している
	40	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	○			定期的に研修を行い、虐待防止に努めている
	41	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載している	○			身体拘束が必要なケースはなかったが、必要があった際には、十分な説明や計画記載を行う
	42	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	○			医師の指示書はないが、アナフィラキシーショックが起きた際、迅速に対応する準備はできている
	43	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	○			ヒヤリハット事例があれば、速やかに記録し、職員間で共有するとともに、再発防止のための対策を検討している